

はじめに

従来の大量生産・大量消費型の経済社会活動は、大量廃棄型の社会を形成し、環境保全と健全な物質循環の阻害に結び付く側面を有しています。

また、こうした活動様式は天然資源の枯渇への懸念、自然破壊や自然界における適正な物質循環の阻害などにも密接に関係しており、地球温暖化の危機や生態系の危機と重層的に、また相互に悪循環しながら地球規模での環境問題の深刻化につながっています。

こうした現状を踏まえると、持続可能な社会に向けてさらに努力を傾注し、低炭素社会や自然共生社会に向けた取組とも統合して、天然資源の消費抑制と環境負荷の低減を目指した循環型社会の形成を、国内はもとより国際的にも実現していくことが喫緊の課題となっています。

本書では、日本を代表する表現手法の一つである漫画を活用しつつ、「循環型社会白書」の概要を紹介し、世界的にも評価の高い、江戸時代を代表する浮世絵師である葛飾北斎を案内役として起用し、作風も葛飾北斎の代表作である「北斎漫画」の雰囲気味わえるようにしました。

もくじ

プロローグ	1
テーマ① 廃棄物と資源をめぐる世界の状況	2
テーマ② 江戸の衛生的な循環システム	4
テーマ③ 「もったいない」の心をもった江戸の人々	6
テーマ④ 廃棄物の適正な処理 —日本のあゆみ—	8
テーマ⑤ 循環型社会の形成 —ここを目指します—	10
テーマ⑥ 地域発、循環型社会づくり	12
テーマ⑦ 東アジアを循環型社会に	14
テーマ⑧ 廃棄物の不法な輸出入は許しません	16
テーマ⑨ 世界に貢献する日本	18
エピローグ	20

葛飾北斎 (1760~1849)

江戸時代後期の画家。90歳という、その当時としては長い人生を絵画に没頭し、挑戦的かつ独創的な絵画活動を続けた。その生涯で3万点以上の作品を発表し、「富嶽三十六景」や「北斎漫画」など数多くの傑作を世に送り出した。ゴッホなどの印象派の画家にも多大な影響を与えたといわれる。その功績は世界的に評価されており、1999年に「ライフ」誌が行なった企画「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」に日本人として唯一選ばれている。



出典：芸州堂版「北斎漫画」



世界的に有名な絵師
葛飾北斎

絵を描くことに熱中するあまり部屋が荒れば引っ越しをし...



その生涯で90回以上も引っ越しをしたといわれた

そんな北斎が、なんと現代に引っ越してきた



21世紀の循環型社会をその手で描くためである

はて、未来の循環型社会とはいかなものか...

